

基本情報

所属	現代ビジネス学 部 国際社会学科	氏名	木戸 康人 Kido Yasuhito
職名	准教授	E-mail	y-kido@cb.kiu.ac.jp
		研究室ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

2011(平成23)年3月	福岡大学人文学部英語学科 卒業 文学学士
2013(平成25)年3月	南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 博士前期課程 修了(言語科学)
2017(平成29)年3月	神戸大学大学院 人文学研究科 博士課程後期課程 社会動態専攻 修了(学術)

■ 主な職歴

2013(平成25)4月	福岡大学大学院人文科学研究科 英語学英米文学専攻 研究生
2015(平成27)4月	兵庫教育大学教育学部 非常勤講師
2016(平成28)4月	日本学術振興会 特別研究員 (DC2)
2017(平成29)4月	日本学術振興会 特別研究員 (PD)
2017(平成29)8月	コネチカット大学 (University of Connecticut) (米国) 在外研究員
2018(平成30)4月	神戸大学大学院人文学研究科 非常勤講師
2018(平成30)4月	神戸大学大学教育推進機構国際教養教育院 非常勤講師
2018(平成30)4月	近畿大学経営学部 非常勤講師
2018(平成30)9月	神戸女学院大学文学部 非常勤講師
2019(平成31)4月	国立国語研究所共同研究プロジェクト 「統語・意味解析コーパスの開発と言語研究」 共同研究員
2019(平成31)4月	東北大学共同研究プロジェクト 「言語変化・変異研究ユニット」 共同研究員
2019(令和元年)7月	日本学術振興会 卓越研究員候補者
2019(令和元年)7月	国立国語研究所共同研究プロジェクト 「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」 共同研究員
2020(令和2年)4月	九州国際大学現代ビジネス学部国際社会学科 准教授

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学 部：心理言語学ゼミ・言語学・English Grammar・Writing・English Literacy・English Communication

○ 大学院：理論言語学特殊研究

■ 教育上の特記事項

- 教科書・教材：『映像で巡る海外のキャンパス Talking About Our Campus』
小笠原 真司／奥田 阿子／COLLINS William／廣江 顕／木戸 康人 共編
(2021) 東京：英宝社
- 教育活動：
- 免許・資格：中学校教諭専修免許状外国語(英語)(2013年3月取得), 高等学校教諭
専修免許状外国語(英語)(2013年3月取得),

研究活動

■ 研究分野

研究分野	第一言語獲得 第二言語習得 語彙意味論 形態統語論
主な研究テーマ	複雑述語(複合語・結果構文) 接辞 CHILDES
キーワード	形態論 統語論 心理言語学 英語学 言語学

■ 主な著書・論文等

著書

- 統語構造と語彙の多角的研究—岸本秀樹教授還暦記念論文集一、(共編) 開拓社、2020年、(于一楽、江口清子、木戸康人、眞野美穂編)
- 接続詞と句読法、(共訳) 開拓社、2019年、(岸本秀樹、有働眞理子、眞野美穂、木戸康人、前田晃寿編)

論文

- 日本語複合動詞の獲得—幼児語の特徴を手掛かりにして—、『SLS』、2022年、査読有
- 肥筑方言におけるノ格主語の主語移動、『言語研究』、161号、pp.1-27、2022年、査読有
- Acquisition of English adjectival resultatives: Support for the Compounding Parameter. *Language Acquisition*. 2022, 査読有
- Acquisition of V-V Compounds in Child English and Japanese: An Empirical Study Using CHILDES (単著) 于一楽・江口清子・木戸康人・眞野美穂 (編)『統語構造と語彙の多角的研究—岸本秀樹教授還暦記念論文集一』, 開拓社, pp.195-211、2020、査読有
- 発話データベース CHILDES を用いた調査 (単著)、中谷健太郎 (編)、パソコンがあればできる! ことばの実験研究の方法—容認度調査、読文・産出実験からコーパスまで—、ひつじ書房、pp.195-231、2019、査読有。

学会発表

- 日本語名詞修飾構文の獲得 (単独)、Prosody and Grammar Festa 4、2020年2月16日、神戸大学 (兵庫県・神戸市) (招待在り)
- Adjectival Resultatives and Novel Compounds in Children's English: Support for the Compounding Parameter (共同 英語) Boston University Conference on Language Development (BUCLD) 44、2019年11月8日、Boston University (米国)

その他

- CHILDES を利用したデータ分析の方法 Part 1. 長崎大学言語センター, Zoom, 2021年12月22日.
- CHILDES データベースの使い方と言語習得研究. 中央大学, Zoom, 2022年1月8日.
- CHILDES を利用したデータ分析の方法 Part 2. 長崎大学言語センター, Zoom, 2022年1月22日.

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

2019(平成31)年3月	題名：人文学部の魅力と価値、雑誌名：福岡大学人文学部同窓会、出版社：梓書院
---------------	---------------------------------------

■ 主な所属学会

言語学会、関西言語学会、日本言語学会

■ 受賞等

2018(平成30)年8月	言語学会 JCHAT 賞
2016(平成28)年5月	日本学生支援機構 第一種奨学金全額免除認定証

■ 研究助成金による研究

○ 科学研究費補助金 萌芽研究(分担) 課題研究 19K21634、2020年度～2021年度
○ 科学研究費補助金 若手研究(代表) 課題番号 19K13161、2019年度～2022年度
○ 科学研究費補助金 基盤研究(C)(分担) 課題番号 16K21634、2016年度～2019年度
○ 科学研究費補助金 基盤研究(B)(協力) 課題番号 15H03210、2015年度～2019年度
○ 日本学術振興会 特別研究員奨励費(代表) 課題番号 16J02245、2016年度～2017年度
○ 科学研究費補助金 基盤研究(C)(協力) 課題番号 24520684、2014年度～2015年度

社会における活動等

○ 言語学会 査読委員、運営委員 (Zoom 担当)
○ 長崎大学言語研究センター論集の査読委員

大学運営活動等

○ 教務委員 2020年4月～
